

宮城県

【設問 1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

【医師不足に関する課題】

- 絶対数不足（人口 10 万対医師数（県平均）が全国平均以下）
- 地域偏在（人口 10 万対医師数（二次医療圏別）が、仙台医療圏のみ全国平均を上回り、仙台市に限っては全国平均の約 1.5 倍）
- 診療科による偏在（産科、小児科、救急の医師不足）

【県としての主な取組】

- ドクターバンク事業（本県地域医療に従事する医師を県で採用し自治体病院へ派遣）
  - 医学生修学資金貸付事業（医学生に奨学金を貸付け、医師免許取得後一定の地域医療従事を条件に償還免除）
  - 医師育成機構運営事業（臨床研修体制の整備、医師のキャリア形成支援等を通じ、医師の招聘・県内定着を促進）
  - 研修施設整備への助成（東北大学が整備する地域開放型のスキルズラボや医療手技訓練施設等の整備に助成を行い、医療技術者の研修環境整備促進）
- 等

【設問 2】

設問 1 で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※ 24 年度から実施の 5 県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- 地域医療支援センターに相当する業務については、本県の場合「宮城県医師育成機構」（H23.2.8 設立）が担当。
- 東北大学、医師会、医療機関、県の 4 者で構成し、平成 23 年度以降臨床研修医の合同研修会などの各種事業展開を予定していたが、東日本大震災の影響により活動停滞。
- 実質的には平成 24 年度から活動本格化。

【設問 3】

設問 2 で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。（あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など）

ー （設問 2 のとおり）

**【設問4】**

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

－ （設問2のとおり）

**【設問5】**

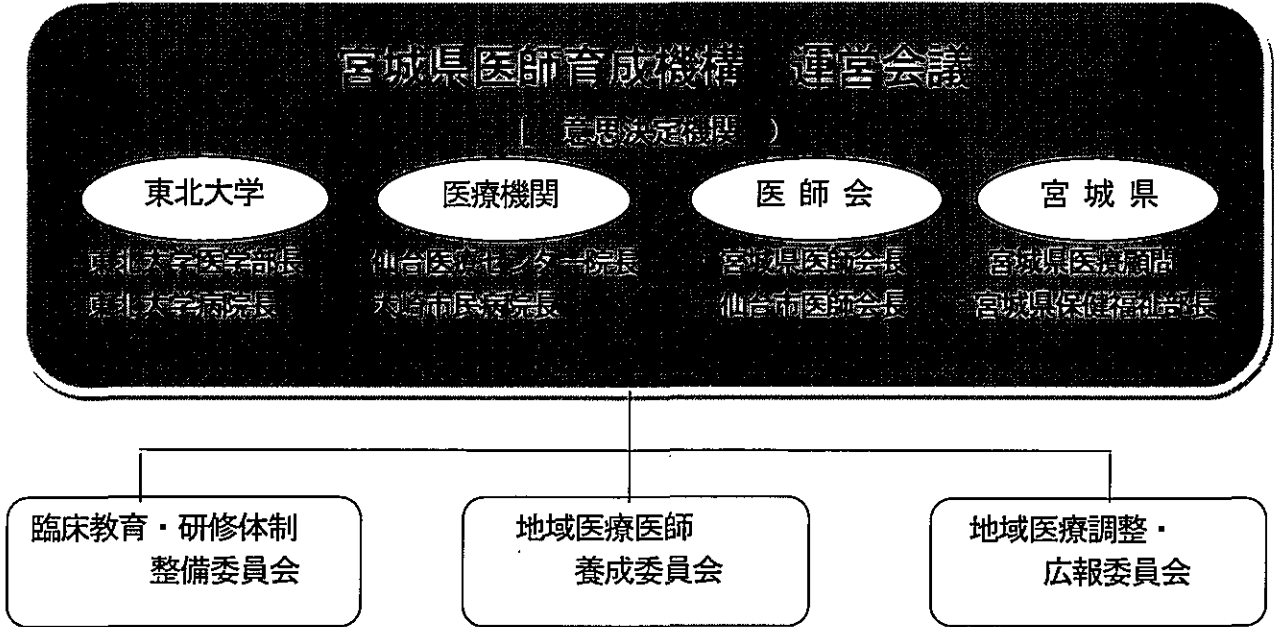
今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

- 臨床研修医合同研修会「ウェルカムみやぎ」の開催（4/6に開催済み）
- 医師募集の広報活動（ホームページ開設，業界紙への医師募集広告掲載 等）
- 医師招へい活動（問い合わせ医師の面談・病院見学等を通じ勤務病院斡旋）
- 医師のキャリアプラン作成（修学資金貸付医師，医学生等のキャリア形成支援）

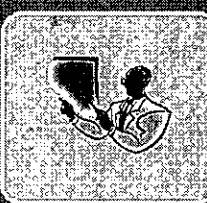
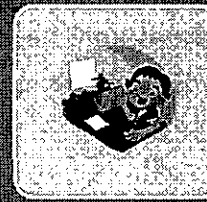
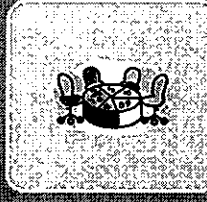
等

～以上～

宮城県医師育成機構 組織体制



宮城県医師育成機構 事業内容

	<p><b>臨床教育・研修体制整備委員会</b> ～医療機関の魅力を高めて全国の医師にアピールする～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床研修体制整備・情報発信（合同研修プログラムの作成）</li> <li>○臨床研修医のネットワーク形成（「ウエルカムみやぎ」）</li> <li>○専門医の養成、学位の取得等医師のキャリア形成支援</li> </ul>
	<p><b>地域医療医師養成委員会</b> ～地域医療に従事する医師を育てる～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域科医師のキャリア形成支援（修学資金貸付医師）</li> <li>○自治医科大学卒業医師のキャリア形成支援</li> <li>○医師を志す高校生支援</li> </ul>
	<p><b>地域医療調整・広報委員会</b> ～医師が安心して働ける環境を整備する～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総合相談窓口の設置</li> <li>○地域医療に従事する医師の支援（他科医の調整）</li> <li>○医師のあっせん（ドクターバンク、ドクターキュービッド）</li> <li>○地域医療関係者との意見調整</li> </ul>